



国劳西日本

国劳西日本本部

NO. 346

発行責任者 植田 重信
編集責任者 大北 真也

国劳西日本HP



国劳西日本 検索

台風の影響で勤務開始後に年休！？ 年休は労働者が労働日に 申し込むものである！

会社都合による勤務開始後の 勤務変更は「×」

取り扱いは無いやり方はおかしい！
しっかりと現場への教育を！

8月14日から台風7号が西日本に接近し各地において甚大な被害を引き起こしました。近畿圏を中心に大幅なダイヤ乱れや計画運休が実施されました。計画運休の発表によって労働者の勤務の扱いが問題となつています。15日の日勤勤務者は仕事が無いので年休を僉憑したり、泊まり勤務者は出勤時間の変更や勤務解放して休養、14日の泊まり勤務開始後に明け場面を年休や特休に変更したりなど行なわれていきます。



年休は労働者が申し込むもの！

労働協約改正の交渉時において年休の議論を行なってきました。会社は「年休

適正な労働時間管理を！ 早急に対応するよう求める！



は労働者が労働日に申し込むものである」と回答しています。それなのに今回の事象は申し込んでもないのに僉憑され、年休での処理などがされています。本来ならば、出勤を待機、出勤前なら公共交通機関が

ただ働きは是正を！

先月の機関紙No.345でも記載しましたが、乗務員の皆さん、準備時間はしっかりと余裕をもって出来るように確保されていますか？安全で安心して利用してもらえようとするには労働者が安全・安心でなければいけません。皆様のおかれている状況はどうでしょうか。出勤時間前に準備していませんか。出勤時間直が探しに来て「早く

動かない場合は障害扱いなどの処理ではないでしょうか。労働者が希望もしていない年休の取らせ方には問題があります。
不利益ならならん！考慮！

翌日年休とした処理は本来そのような取り扱いは労働協約や制度にもありません。会社は不利益の無い取り扱いを行なってくれるものなのか疑問が残ります。今回のような会社の主張ならば、勤務の途中で帰っても残りの時間はカットされずに対応もできると考えていいのでしょうか。勤務の途中で「明け場面年休にし

て」が増えるなら対応が出来るように要員も増やさなければなりません。
この事象に対して近畿地方本部は申し入れを行なっています。近畿統括本部はしっかりと早急に対応することを求めます。
会社都合の勝手なやり方に強く抗議します！



また、出場時間の3分を1分に変更した理由はどうでしょうか。見直した事により乗務本数が増えたりしていませんか。本場に労働者の事を考えて休養を考へるなら、利用者の為に安全輸送を考へるなら、黙認されているただ働きをしっかりと改善することが必要であります。

試行されてきた「点呼支援システム」を活用した点呼等を準備出来るのではないのでしょうか。
来次第、本施行されませんが試行時にシステムと同時に乗務報の記入を行なわせていた労働者にはしっかりと賃金の追求をするべきです。2重の労働が発生しており会社もしっかりと管理するべきです。
社員の教育をする前に黙認されている事象を解決してこそ教育が出来るのではないのでしょうか。



貨物「2023年度年末手当」

期末手当は生活給！ 生活改善の満額回答を！

創意工夫した取り組みを！

国労本部は10月13日に「2023年度年末手当3.0箇月分の支払いに関する申入れ」を貨物会社に対して行ない、現在交渉を行なっています。

貨物会社の2022年度決算は、コロナ禍や自然災害の影響により単体で▲63億円、連結▲43億円となりました。2023年度の事業計画では単体20億円、連結36億円をめざす計画をしています。赤字決算から約80億円の回復をさせる強気の計画をしており、労働者への労苦が押し付けられています。それでも回復に向けて日々業務に励んでいる労働者への還元は、モチベーションアップにも必要ではないでしょうか。

今年の夏季手当交渉時には、赤字決算を理由に厳しいことを主張し1.62箇月の超低額回答を行ないました。

これまでの物価高騰による労働者の生活苦は明らかになっており、低すぎる賃金では離職も止まりません。この間、過去の最高益を連続で更新し利益剰余金を溜め込んできています。



今こそ、溜め込んだ利益剰余金を労働者へ還元をするべきではないでしょうか。社員と家族の生活改善に向けて、職場からの創意工夫した取り組みが求められており、客貨一体となつて、年末手当の国労要求満額獲得、職場要求の実現に向けて声をあげましょう！



2023年11月17日まで、各級機関からの創意工夫した取り組みをお願いします。
(電送No.026参照)

業務委託よりも直営で安全を！

JR西日本は2020年4月から、車両搭載装置の置き換えや検修技術の変化、生産年齢人口の減少など社内外を取り巻く環境が変化してきているとして、環境変化に対応するためJR・グループ会社間の見直しを実施しています。

委託先は要員が足りていない！？
業務委託して出向者約40人！
本当に今必要な施策なのか！？

私たちは10月12日に15項目の申し入れを提出し、10月30日に団体交渉を開催し、問題点を主張してきました。今施策は5年計画で進められており、現在4年が経過をいたしました。経過の中で、箇所によっては課題もあり、その課題についてどうしていいのか等議論を行いました。

業務移管の係で今まで使用工具・機器等の扱いの問題もあつたことを指摘してまいりました。また、将来的な技術継承の問題や今後の考え方やなどを議論し、業務移管に伴う出向などもしっかりと本人の意志を尊重するよう求めてきました。業務を委託し、その業務を出向して行なうのは意味があるのでしょうか……



がん保険に興味があれば ぜひアベニールへ連絡を！

がん保険にできることを、
もっと。

No.1 アフラック
がん保険・医療保険
保有契約件数
令和3年版 インシデンス生命保険統計



- 1** 幅広い保障で経済的負担をサポート
治療前の検査から治療後の外見ケアまで幅広い保障でしっかり備えることができます。
- 2** 付帯サービスアフラックのよりそがん相談サポート^(※1)
(2023年1月23日サービス提供開始予定)
アフラックのよりそがん相談サポーターがさまざまな悩みの解決をサポート
「がんかもしれない」と思ったときから専門知識を持つ相談員が親身にお応えします。

(※1)アフラックのよりそがん相談サポートはHatch Healthcare株式会社またはHatch Healthcare株式会社の提携先が提供するサービスであり、アフラックの保険契約による保障内容ではありません。サービスの詳細は、アフラックオフィシャルホームページ(<https://www.afac.co.jp/keiyaku/gansoudansupport.html>)をご確認ください。

アベニール株式会社
〒105-0004 東京都港区新橋5-15-5 交通ビル3階
TEL.03-3437-6810 FAX.03-3437-6822

アフラック
東京第二法人営業部
東京都千代田区丸の内1-6-1 丸の内センタービル19階
TEL.03-6385-9829 FAX.03-3218-3885